

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

<b>事務事業名</b>		放課後子ども教室推進事業		<b>担当部署</b>	教育委員会 生涯学習人権課	
<b>総合計画体系</b>				<b>根拠法令 計画など</b>	徳島県放課後子供教室推進事業等実施要綱	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり				
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なると				
(小項目)		生涯学習				
施策	1	生涯学習の推進				
<b>基本事業</b>	3	青少年健全育成の推進		<b>事業期間</b>	<b>開始</b>	平成 19 年度
					<b>終期</b>	未定

◎事業概要(PLAN)

<b>事業対象</b>	誰(何を)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 放課後子供教室の設置を希望する鳴門市内の小学校に通う小学生。														
<b>事業目標</b>	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	①安全で安心した放課後の居場所がある。 ②地域の人たちとの交流の場、体験活動の場を提供する														
<b>事業計画</b>	27年度に何を計画していたか	放課後子供教室の目的である、地域住民の協力を得て、子どもたちの居場所の定着や経験の場とする。 国の「放課後子ども総合プラン」の概要を踏まえて、児童クラブとの一体的に又は連携を進めていく。														
<b>成果目標</b>	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放課後子供教室利用者の延べ人数</td> <td>7,800</td> <td>7,800</td> <td>7,800</td> <td>7,800</td> <td>8,200</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位	放課後子供教室利用者の延べ人数	7,800	7,800	7,800	7,800	8,200	人
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位										
放課後子供教室利用者の延べ人数	7,800	7,800	7,800	7,800	8,200	人										

◎実施結果(DO)

<b>事業実施内容</b>	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	① 各教室のコーディネーターを集めた、実行委員会で情報交換や事務処理等について話し合った。 ② 平成26年度に指導者不足のため、放課後子供教室を閉じた鳴門西小学校区において、地域のスポーツクラブの協力を得て、新組織を作り、今年度より再度放課後子供教室を再開することとなった。 ③ 「放課後子ども総合プラン」の取り組みとして、児童クラブと一体的な実施及び連携した取り組みを進めていくため、合同の研修会及び情報交換会を実施した。 ④ 県教委主催の研修会に各教室のコーディネーターを派遣し、放課後子供教室活動のスキルアップを図った。						
<b>事業実施手法</b>	<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
<b>指標名</b>			26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位
<b>活動指標</b> 実施した事業の活動量を示す指標	1	教室の実施回数	369	425	390	390	450	回
	2	教室の参加児童数	286	312	350	350	350	人
<b>成果指標</b> 対象にどのような効果があったかを示す指標	放課後子供教室利用者の延べ人数		6,806	7,900	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			101.3	—	—	—	%
<b>今年度の進捗状況</b>		計画どおり	<b>事業全体の進捗状況</b>		ほぼ計画どおり			

(千円)

<b>財源内訳</b>	平成27年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
			当初予算額	0	2,954	0	0	1,479	4,433
			全体予算額	0	2,584	0	0	1,295	3,879
			決算額	0	2,584	0	0	1,295	3,879
			繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)	総人件費		総事業費		
			0.0	0.3	621		4,500		

【事務事業名：放課後子ども教室推進事業】  
(千円)

年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度	
事業費推移	事業費	3,078	3,879	4,436	4,436	4,436
	うち一般財源	1,026	1,295	1,480	1,480	1,480
	人件費	607	621	2,058	2,058	2,058
	総事業費	3,685	4,500	6,494	6,494	6,494

## ◎項目別評価(CHECK)

評価項目	評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった 新規になるにキッズ教室を加え、開設教室数が市内14小学校区中7箇所となったことにより、利用児童数の大幅な増加に繋がった。 また、各教室共に経験の蓄積や情報共有により特色のあるプログラムになってきている。
	効率性	B:概ね効率的だった 前年にひきつづき、各教室の事務処理の統一を図るとともに、運営に関する好事例を教室間で共有するため、情報交換を密に行なった。
②成果に対する評価	指標名	放課後子供教室利用者の延べ人数
	目標	7,800 人
	実績	7,900 人
	評価	A:目標を達成できた
③総合的な評価	A	成果目標は達成したが、今後も児童クラブとの連携方法等、継続して改善・検討を行っていく。

## ◎今後の方向性(ACTION)

課題	① 利用者増加への対応や教室の継続運営のため安定した人材確保の方策が必要である。 ② 児童クラブとの具体的な連携方法の検討が必要である。 ③ 更なる新規教室の開設に向けて、学校・家庭・地域のニーズ及び実状の把握が必要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	①放課後児童クラブと放課後子供教室の指導員の情報交換・研修等を行い、ひきつづき協力体制の強化を図る。②第一小地区に新規教室を開設する。③複数の教室において共通のプログラムを実施する等、数少ない指導員を効率的に確保する工夫を行なうほか、特色あるプログラムの充実に努める。			
	平成29年度	実施内容の充実並びに新たな放課後子供教室の整備に向け、地域の団体・機関に積極的に働きかけ、ひきつづき指導者の確保に努める。また、事業に対する地域のニーズ・活用可能な社会資源の把握に努めると共に、学校・地域・家庭の連携を強化する取り組みについても検討する。			